

HK-1 Plus Q&A

Q1

高天井用の水銀灯をLEDにするには
工事をしなければならないと聞きました。



HK-1Plusはご家庭の電球を変えるように容易に取替が
出来ますので、電気工事をしなくともご使用いただけます。
水銀灯用安定器も起動しない設計のため、
消費電力もほぼ変わらず使用して頂けます。

Q2

消費電力70Wだと、今まで点いていた
水銀灯より暗くなるのでは？



交換された方のほとんどが、今までより明るくなった！
と評価いただいております。
ご心配の無い様、サンプルもご用意しておりますので、
お気軽にお声がけください。

HK-1 Plus Q&A

Q 3

水銀灯の設置している高さが
バラバラなのですが、均等に光を当てたい



HK-1Plusは5種類のレンズを用意しておりますので、
取付高さに応じてレンズを交換する事が出来ます。
位置等の詳細をお伺いできましたら、ご案内いたします。
※レンズ「30 / 50 / 70 / 90 / 120」

Q 4

どのような場所に設置できますか？



原則、屋内での仕様となっております。
防水には対応しておりませんので、雨が掛かる場所への
設置は出来ません。
動作温度範囲内の環境下でご使用をお願いします。
※密閉器具・水銀灯の笠が付いたままの使用は出来ません。

HK-1 Plus Q&A

Q5

照明工事をする際には、初期費用が高くなってしまいうイメージがあるのですが



一般的なLED照明工事では、安定器を取外し、新たに専用電源を取り付ける必要があるため、まとめて交換する事で費用をある程度抑える事が出来ます。
HK-1 Plusは電気工事を行わなくても取付ができますので、より安価にお取り付け頂く事が出来ます！

Q6

水銀灯の安定器が付いたままでも、LED化出来ると聞いたのですが。



HK-1 Plusは下記の既存照明に対応しております。
「水銀灯(HF)」「メタハラ(MF)」「ナトリウム(NH)」
※安定器の種類によっては、点灯しない場合がございます。
※100Vの場合には、直結工事が必要です。

HK-1 Plus Q&A

Q7

水銀灯の安定器がある状態では、
電力ロスが大きいのではないですか？



水銀灯の安定器が付いたままでも、HK-1 Plus の場合
消費電力はほぼ変わりません。
電圧のみ高くなります。
設計の段階から、水銀灯安定器を残した設計となっており、
お客様に安心してご使用いただける物になります。

Q8

水銀灯の安定器が壊れてしまったら
どうしたら良いでしょうか。



水銀灯の安定器が故障した場合、電球への通電もなくなり
ますので、点灯しなくなります。
安定器を取り外す直結工事（有資格者による）をいただけ
れば、いままで通りご使用頂けます。

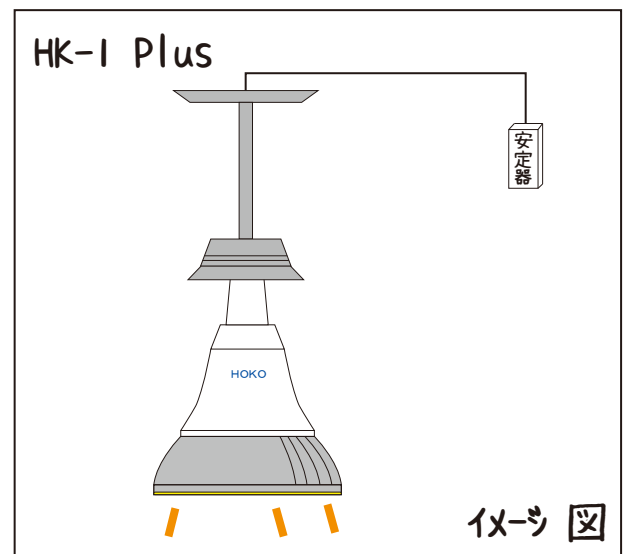
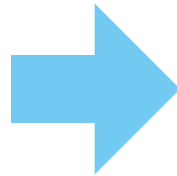
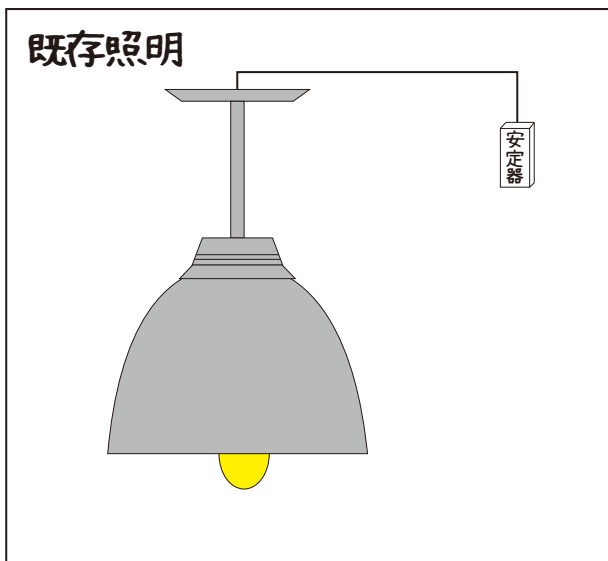
HK-1 Plus Q&A

Q9

水銀灯からHK-1 Plusに交換をする際
どのように取り付けるのが良いか。



HK-1 Plus を取付ける際には、水銀灯の笠（シェード）を外す
必要がございます。既存灯具が経年劣化している場合が
ございますので、ご注意ください。
取付イメージは下記の通りとなります。



※安定器が故障している場合には、直結工事をお願いします。
注意：水銀灯電球と比べて重量がありますので、既存の器具
（または器具が取り付けられた梁など）が
重量に耐えられない場合が考えられます。